

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和5年1月19日

事業所名：児童発達支援事業所なゆた

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	ペア療育の時とグループ療育の時で、隔壁の調節により部屋の広さを変えています。	・のびのび過ごせていると思います。 ・部屋はほど良い広さで、動きやすそうにみえます。	
	2 職員の適切な配置	1日定員10人に対して5人配置。保育士、臨床心理士、公認心理師、臨床発達心理士を配置し、定期的に音楽療法士に来てもらっています。	・わかりませんが、信頼しています。 ・専門的な知識を持ち、丁寧に支援されています。 ・よく目を配っていただいていると思います。	引き続き、資格も含め、児童発達支援に添えるよう継続します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	開所当初から構造化を意識した空間作りをしています。	・活動内容に合わせて空間を分けて頂いておりとても分かりやすいと感じます。 ・収納には扉がついているので締めれば視覚がシンプルになるなど、落ち着いた空間です。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	週に2回、役割を決めて清掃をおこなっています。加えてそれぞれの職員が不定期に清掃をおこなっています。	・気持ち良く過ごせるよう環境構成してくださっています。 ・部屋にある洗い場にも戸がついていてよいと思います。	清掃のルーティンを継続します。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	個別支援計画、療育の実践、カンファレンス、計画の見直し、のサイクルをおこなっています。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	同法人のクローバーの心理士、相談支援事業所の相談員等に相談をおこなっています。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	法人で作られている研修委員会に定期的に参加し、職員に周知しています。適宜実施されている研修会にも全員参加しています。		法人内の研修はもちろんのこと、各職員で興味のあるissueに関する研修は積極的に参加していきます。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	インテイクでは太田ステージに含まれるLDT-Rと、認知課題の実施により評価をおこなっています。	・子どもにとって今必要な課題に取り組んだり挑戦させてもらっていてとてもありがたいです。 ・長い間で見ても子どもが成長できるようにいつも考えて計画して頂いて感謝しています。	アセスメントの実施と記録を継続します。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用いただいている療育の形態と、個別支援計画の内容はリンクさせています。	・本人の発達段階や特性に合わせて無理なくスモールステップで設定して頂いています。 ・内容も具体的に設定されていると思います。 ・子どもの特性などに合わせて設定されていると思いま	個別支援計画の作成を継続します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	「具体的な支援内容」の項目に記載するようにしています。	す。 ・様々な活動の中で学んでいると思います。	具体的な支援内容の項目を、引き続き「具体的に」記載するよう継続します。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	各児童の記録ファイルの一番上に支援計画を挟んでおり、療育前に確認するようにしています。	適切な支援がなされていると思います。	引き続き、計画内容と療育のリンクを意識していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	保育士、心理士、それぞれの役割分担の中で課題設定していますが、グループ療育の活動内容の決定は全員でおこなっています。		制作活動のバリエーションの維持を意識します。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日は開所していません。長期休暇は、普段と同様の療育を実施しています。	・毎週様々な絵本やダンス、製作をして下さりありがとうございます。 ・季節ならではの制作を、いつも楽しみにさせていただいています。	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	制作に関しては、保育士が毎月新しい課題具を準備して頑張ってくれています。机上学習の認知課題の刷新も意識が必要な部分を感じています。		現存する活動や課題の、マイナーチェンジも含め、固定化しない様に配慮を継続します。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	前回のカンファレンスや個別支援会議の内容を確認するようにしています。		カンファレンスと定期職員会議を継続します。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎療育終了後にカンファレンスをおこなうようにしています。		カンファレンスを継続します。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳兼カンファレンス資料を作っており、それを保護者にも渡し、カンファレンスでも使っています。		より具体的な内容を連絡帳兼カンファレンス資料に残す様意識します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリング、保護者への報告をおこなっています。		継続します。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援専門員にもよりますが、関わってくださっている方は熱心な方が多く、利用児童について色々とお話をさせてもらっています。	必要に応じて適宜相談支援専門員に相談します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	就学時に、当事業所から提供した情報は全て教育機関に見ていただいて問題ないこと、必要があれば教育機関に行き、話をさせてもらうこと、を保護者に伝えていますが、心から「教育機関との連携」を目指す気持ちをもって望んでいますが、過去、「ああ、おそらくあまり相手にされていないな」と感じる出来事が何度かあり、少し二の足を踏んでいる部分があります。	事業所の周知も含め、『情報源として有意義な事業所』になれるよう業務を継続します。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	同法人にクローバー加西ランチがあり、その心理士に必要に応じて相談にのってもらっています。	法人内の研修への参加の継続し、それぞれの資格の専門性を高めるための研修への参加を続けます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	できていません。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から利用しているが、障害のない子どもとの交流や活動をしたと聞いた覚えがない。 ・事業所の先生方と幼稚園の先生方の交流はありました。子ども同士の交流は幼稚園でできているので今のところ望みません。 ・市が違うのでわかりません。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	以前講演会を実施したときは、どなたでも参加できるよう広く周知しました。現在2回実施しているマインドフルネスのワークショップは保護者向けにおこなっていますが、今後対象を広げることも考察しています。		ワークショップを継続的におこないます。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学时、契約時に書類を通しておこなっています。	・解かりやすく丁寧に伝えていただきありがとうございました。 ・書面でも確認しながら説明していただきました。	引き続き、丁寧に説明していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	初回計画時、モニタリング時、書類を提示しながら説明をおこなっています。	内容の確認ができて、わかりやすいです。	継続します。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在、2回マインドフルネスに関するワークショップをおこなっています。	・何かを受講するというよりは、困った時に都度アドバイスをいただいております。 ・相談事がある時は、真摯に対応していただき、子どもの関わり方や接し方の工夫を様々な場面で想定して伝えて下さる。最近では、家庭での困り感がないため、どちらともいえないにOをしました。	ワークショップ等を含め、情報の発信を続けます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	事業所への送迎の際に、インフォーマルな形でちょっとした話ができるように意識しています。	連絡帳にはいつも詳しくその日したことが書かれてあってわかりやすいです。	送迎時の、ちょっとした保護者の方々の時間を大切にします。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・連絡帳に『相談したい事欄』を確保し、そこに内容を書いてもらい、保護者と話をさせてもらう時間をとっています。	お迎えの時に助言を頂けるのは支えになっています。	さらに『具体的なアドバイス』ができるよう、知識の増強を続けます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	ワークショップを開催しています。	・ワークショップで他の保護者と交流することができました。もっとあると嬉しいです。 ・コロナ禍だと難しいかもしれませんが、会があっても良いかなと思います。	ワークショップ等を通して交流の場を意識していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	事業所入口に、苦情の受付先に関する情報開示をおこなっています。	・苦情を伝えたことがないため、どのように対応なさるのかもわかりません。小さな相談にも丁寧に素早く返答やアドバイスをくださるので、もし苦情があったとしても同じように対応してくださるものと思っています。 ・特に苦情を入れたことがないのでわかりません。	受付に関する情報開示を続けます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		連絡帳の役割はとても大きいと思います。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回の事業所会報誌を作成しています。加えてホームページ上で、ちょっとした文章や写真で情報を発信するようにしています。	・イベントのお知らせはとてもうれしく思います。 ・会報は分かりやすく見やすいです。	事業所の会報誌、HPの更新を続けます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	事業所内で得た情報を、保護者の許可なく個人名が同定できるような使用はしていません。		事業所内で得た情報を、保護者の許可なく個人名が同定できるような使用はしていません。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	それぞれの対応マニュアルを作成しています。		それぞれの対応マニュアルを作成しています。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	事業を置かせてもらっている福祉会館の避難訓練に、毎回参加させてもらっています。		事業を置かせてもらっている福祉会館の避難訓練に、毎回参加させてもらっています。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	法人で作られている虐待防止委員会に管理者が参加し、各職員に周知しています。		法人で作られている虐待防止委員会に管理者が参加し、各職員に周知しています。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束はおこなっていません。		身体拘束はおこなっていません。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師に指示は仰いでいませんが、インテイク時に確認するようにしています。		医師に指示は仰いでいませんが、インテイク時に確認するようにしています。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	適宜作成するようにしています。		適宜作成するようにしています。